

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービスすまいる		
○保護者評価実施期間	R7年 10月 1日		～ R7年 10月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	R7年 10月 1日		～ R7年 10月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 10月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師の数が多く、利用児童の状態観察が常にできる ・医療依存度の高い児童の受け入れが可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の看護師で児童を観察することで体調の変化に素早く対応できるようにしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や各機関と連携し児童の状態を把握する
2	<ul style="list-style-type: none"> ・芝生のある中庭があるので、室内活動以外にも室外で活動ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に応じた活動内容を実施し療育に取り組んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・室温や外気の温度、児童の体調等に考慮し活動する
3	<ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとのレクリエーションや制作活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSを使用し最新の情報を収集し活動に活かす 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童や保護者に楽しんでいただける機会を設けていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職の偏りがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人一人に合わせた活動の中で、児童への関りや支援が難しい時がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・人員不足にならないように常に求人募集をする
2	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の交流や周辺施設との関わりが少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流の機会が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・区の自立支援協議会や基幹センターとも関りを持ち、地域とつながっていく
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後デイサービスすまいる						公表日	R7年 10 月 31 日	
						利用児童数	年 月 日	回収数 2	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%					室内を有効に使い利用児童が安心して活動できるよう心がけています	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	100%					看護師、保育士、セラピスト、多職種の職員を配置しています	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	100%						
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%						
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%						
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%						
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。			100%			現在、交流の機会はありませんが今後検討していきます	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%						
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。				100%		ご家族様も参加できるようなイベントを企画していきます	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				100%		交流出来る機会がありませんでしたが今後積極的に企画していきます	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%							

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	100%					日々活動の様子は活動終了時、月1回のモニタリング報告書を電子配信させていただいています
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	100%					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				100%		現在冊子を作成中です
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%					現在冊子を作成中です
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%					
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%					これからも児童、ご家族の皆様安心して通所していただけるような事業所作りを行っていきます

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後デイサービスすまいる		公表日		R7年 10 月 31 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		・施設内は車いすやバギーが十分に移動できるスペースを確保し児童の身体的な特徴や障害特性に考慮しています		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	20%	80%	・児童一人一人に職員がつくような配置を行っています	・各職種の増員	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	80%	20%	・必要時にはスロープを使用しバリアフリー化しています		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		・日々の清掃や、消毒、換気を行っています		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	60%	40%	・パーティションで仕切りを作り、活動や訓練に集中できる環境作りをしています	・突発的な対応もできるよう、室内を有効に使う	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%		・朝礼と終礼を行い、申し送りしています		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	60%	40%	・毎月のミーティングで情報共有しています		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%	・毎月のミーティングで情報共有しています	・各職員が意見を言いやすい環境を作る	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	60%	40%	・第三者委員会を設置しています	・第三者委員会の回数を増やし業務改善につなげていく	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	60%	40%	・全職員が毎月動画での研修を受講しています	・外部研修への参加	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		・活動内容についてのミーティングを毎月行っています		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%		・モニタリングを実施し、保護者からの意見や児童発達支援管理責任者及び各職員の意見をまとめ個別支援計画に反映させています	・色々な職種からの意見を取り入れていく	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・モニタリングや個別の事例会議を開催し児童の支援目標や課題を話し合っています		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		・個別支援計画書は全職員が必ず目を通し内容を確認し共有します	・職員のスキルアップ	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	80%	20%	・児童の特性を理解し支援を行います		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		・5領域は保護者には説明し、同意を得た上で支援計画を作成しています		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		・毎月、活動内容や制作物を決める会議を実施しています	・色々な職種からの意見を取り入れていく	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		・新しい情報を収集し活動内容の充実させるようにしています	・同じ活動内容にならないようにする	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%		・児童の体調や特性を考慮しながら支援しています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		・朝礼と終礼を行い、申し送りし情報共有しています	・職員同士が声を掛け合い確認する
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		・朝礼と終礼を行い、申し送りし情報共有しています	・振り返りを行い気づきを共有する
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	80%	20%	・日々の活動記録は活動終了後に写真付きで送信しています	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		・個別支援計画作成前に必ず行っています	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		・可能な限り専門職が会議に参加しています	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	80%	20%	・必要時には看護師やセラピストが会議等に参加し連携できる状況を作っています	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	80%	20%	・各機関と連携し情報を共有し支援に繋げています	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		・保護者を通して情報共有しています	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	20%	80%	・保護者や相談支援員を通して連携できるようにしています	・積極的に参加していく
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	20%	80%		・交流出来る機会を作っていく
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		・活動記録の配信以外にも送迎時に保護者と話す時間を設けています	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%		・今後は保護者向けの研修を検討する	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		・契約時に説明を行っています	・必要時には再度お伝えする
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		・モニタリング時に目標の評価を行い、保護者からの意見を取り入れ目標を決めています	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%		・支援計画の案を作成し同意を得てから個別支援計画書の作成を行っています	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		・相談があれば適切に対応できるようにしています	・送迎時以外にも電話やメール等で相談できる環境を作っていく

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	50%	50%		・ 今後は保護者会や参観日を検討中
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		・ 相談があれば適切に早期に対応できるようにしています	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		・ 毎月保護者と相談支援員に活動の様子を配信しています	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		・ 契約時に個人情報使用について説明を行いSNSへの写真使用の許可をいただいています	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		・ 視覚支援等、各児童と保護者に配慮しています	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	80%	20%		・ 町内会の行事参加を企画する
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	80%	20%	・ 定期的に避難訓練を実施している	・ 訓練の回数を増やしていく
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	80%	20%	・ BCP策定し避難訓練を行っている	・ 備蓄物の期限確認や訓練の実施
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	80%	20%	・ 医療連携用紙は毎年更新しています、服薬が変更になった場合は保護者に提出していただいています	・ 看護職員以外にも周知させる
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		・ 契約時にアレルギーの有無は必ず聞いています	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	60%	40%	・ 安全研修を実施し職員間で共有しています	・ 研修の頻度を増やし、職員の意識向上
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	60%	40%	・ 現在冊子を作成しており保護者に配布予定です	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		・ ヒヤリハットは必ず作成し職員間で共有しています	・ 定期的に振り返り再発防止が出来ているか確認する
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		・ 虐待防止委員会を設置し法定研修を実施しています		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%		・ 個別支援計画書に必ず記載しています	・ 変更時は保護者に説明し承諾を得る	